

1月の中小企業月次景況調査

〔令和2年1月末現在〕



全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

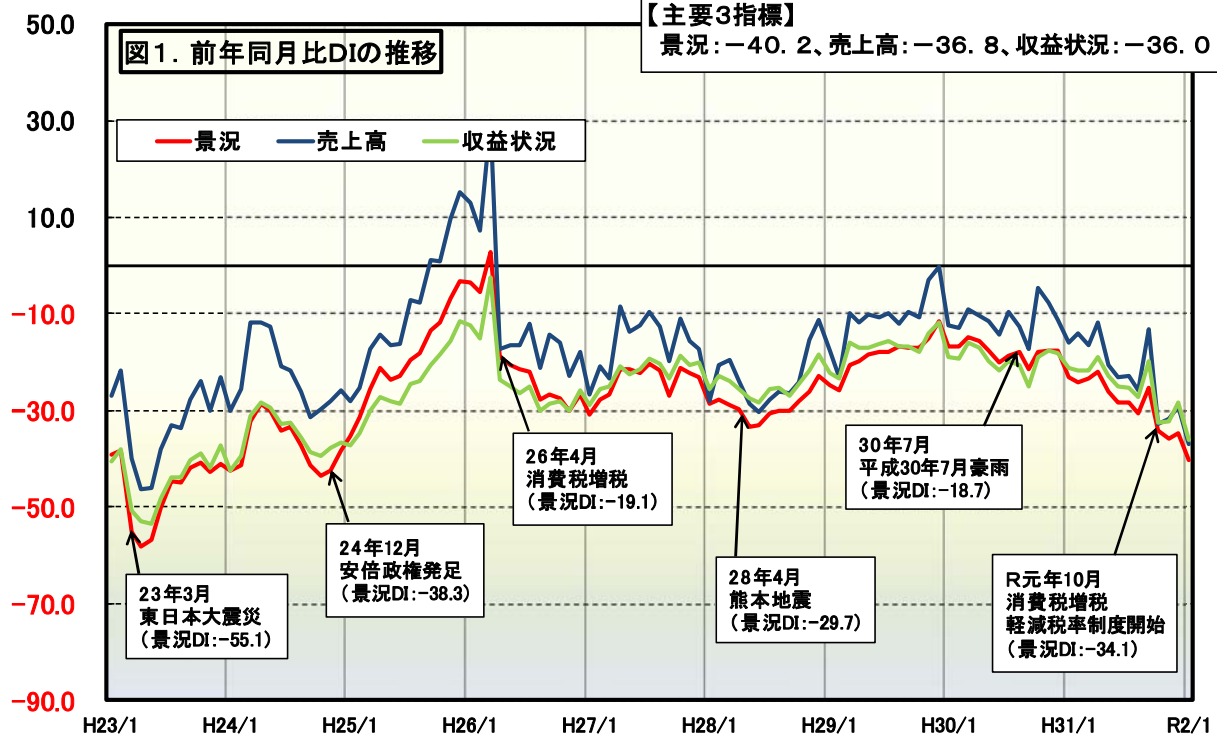
令和2年2月25日発表

◎1月のDIは全9指標すべてが悪化。

10月の消費増税後に悪化したDI水準を下回る水準であり、景気の落ち込みを懸念する声も見られる。

- 1月は暖冬の影響を受けて、衣料品や家電、一部地域のホテル・旅館等は例年に比べ、売上が減少している。加えて、新型コロナウイルスの発生は多くの業種に影響を与えており、経済活動の停滞につながる懸念がある。このまま長期化すると景気の悪化につながる恐れがあり、先行きを注視する必要がある。

- 業種を問わず、人手不足の影響が大きくなってきており、受注・収益に留まらず、事業継続等にも大きな影響を与える懸念がある。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,600名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

(本発表資料のお問い合わせ先)

全国中小企業団体中央会

担当：政策推進部

TEL 03-3523-4902

<https://www.chuokai.or.jp>

1月の調査結果のD I 概況

【指標D Iの動向とポイント】

- 1月のD Iは、全9指標すべてが悪化。主要3指標は、景況5.6ポイント悪化、売上高7.7ポイント悪化、収益状況7.7ポイント悪化した。
- 主要3D Iについては、10月の消費増税後のD I水準を下回る水準となっており、先行きの状況を注視していく必要がある。
- 暖冬の影響、新型コロナウイルスの拡がりへの懸念や人手不足等から、業況に直接影響を受けているコメントも多く寄せられている。

全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）

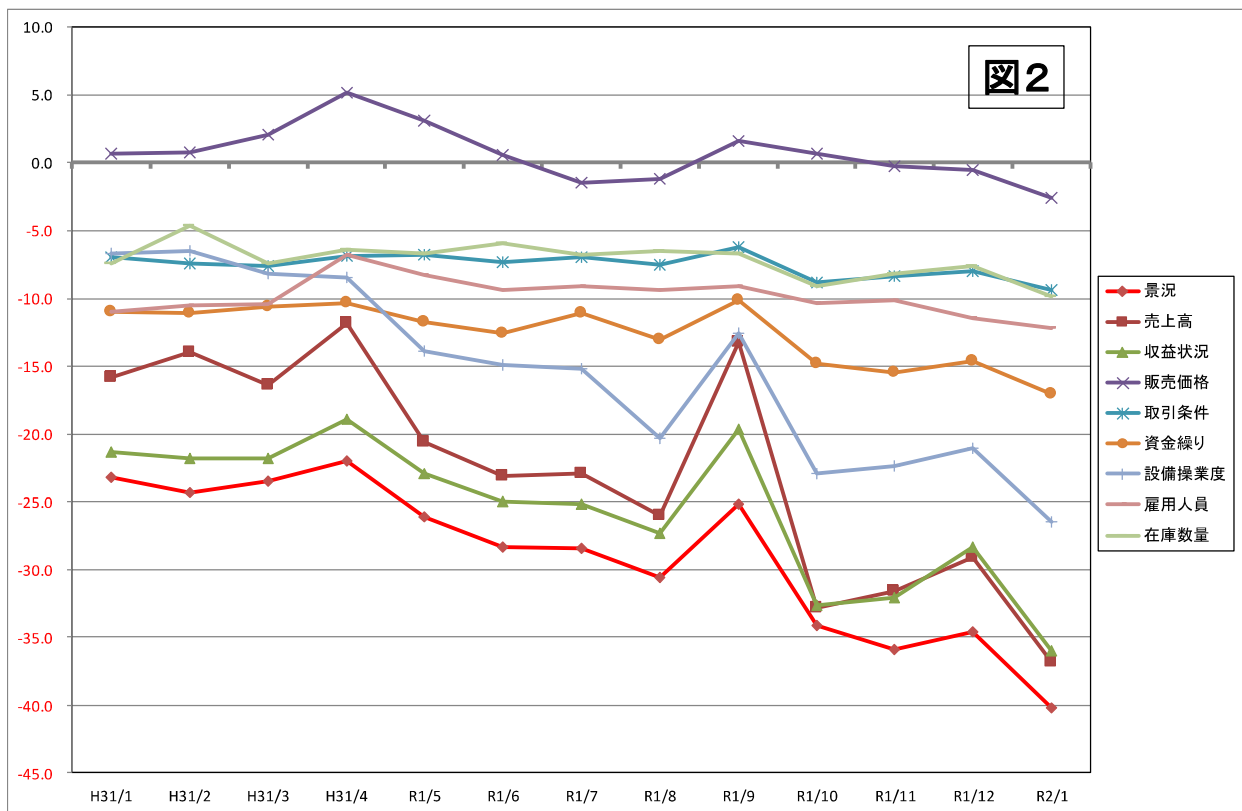


表1	H31 1月	2月	3月	4月	R1 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2 1月	前月比
景況	-23.2	-24.3	-23.5	-22.0	-26.1	-28.3	-28.4	-30.6	-25.2	-34.1	-35.9	-34.6	-40.2	-5.6
売上高	-15.8	-14.0	-16.4	-11.8	-20.6	-23.1	-22.9	-26.0	-13.2	-32.8	-31.6	-29.1	-36.8	-7.7
収益状況	-21.3	-21.8	-21.8	-18.9	-22.9	-25.0	-25.2	-27.3	-19.7	-32.6	-32.1	-28.3	-36.0	-7.7
販売価格	0.7	0.8	2.1	5.2	3.1	0.6	-1.5	-1.2	1.6	0.7	-0.2	-0.5	-2.6	-2.1
取引条件	-7.0	-7.4	-7.6	-6.9	-6.8	-7.3	-7.0	-7.5	-6.2	-8.8	-8.4	-8.0	-9.4	-1.4
資金繰り	-11.0	-11.1	-10.6	-10.3	-11.7	-12.6	-11.1	-13.0	-10.1	-14.8	-15.5	-14.6	-17.0	-2.4
設備操業度	-6.7	-6.5	-8.2	-8.5	-13.9	-14.9	-15.2	-20.3	-12.6	-22.9	-22.4	-21.1	-26.5	-5.4
雇用人員	-11.0	-10.5	-10.4	-6.8	-8.3	-9.4	-9.1	-9.4	-9.1	-10.3	-10.1	-11.4	-12.2	-0.8
在庫数量	-7.4	-4.6	-7.4	-6.4	-6.7	-5.9	-6.8	-6.5	-6.7	-9.1	-8.2	-7.6	-9.9	-2.3

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 全9指標すべてが悪化。消費増税後に悪化したD I水準を下回る状況となっている。
2. 業種を問わず、先行き見通しを不安視するコメントも多い。米中貿易摩擦等の外的要因の影響も長期化している。
3. 台風や自然災害の影響は縮小しつつあるが、暖冬により、冬物商品の売上は低調に推移しており、大きな影響を受けている業種も多い。また新型コロナウイルス発生による事業への影響も出始めており、先行きを不安視する声も多い。
4. 中小企業の人手不足感が強い中での「働き方改革」への対応は、受注・収益に留まらず、事業継続等にも大きな影響を与えている。外国人労働者の採用を始めたとのコメントも増加。最低賃金の引き上げに対する不安の声もある。

《主な報告内容》

◇暖冬の影響

- ・温かい気温が続いており、鍋料理が減少し豆腐の売上も伸び悩んでいる。（沖縄県／豆腐・湯揚げ業）
- ・冬物、特にタイツの売上が良くない。ウール素材の商材も暖冬の影響で売れていない。（大阪府／靴下製造業）
- ・防寒用手袋は暖冬のため販売不振である。ゴルフ手袋はゴルフ場に雪もなく、対前年比を上回りそうだが、全体では対前年比を大きく下回る予想であり、在庫が増え、来期の生産にも影響しそうである。（香川県／手袋製造業）
- ・原木の出材は、雪の影響も無く年明け後も順調である。特に品薄感が高かった桧が回復し価格も安定してきている。杉は安定した取引となっている。（岡山県／製材業）

◇新型コロナウイルスの影響

- ・一部で新型コロナウイルス発生によって中国生産スケジュールが未定となっているため、国内工場の生産枠確保の打診も始まっている。（秋田県／ニット製造業）
- ・中国で発生した新型肺炎の影響からインバウンド期待の食品・土産物関係の受注が急減し、景況が悪化している。（愛知県／段ボール製造業）
- ・新たに、新型コロナウイルスによる中国経済への打撃により資材調達等に遅れも発生し始めており、今後長期化による世界経済への影響が懸念される。（徳島県／ステンレス）
- ・新型コロナウイルスの影響による中国の生産拠点の休業やリスク分散の目論見により、一部の製品では増産や移管受け入れの検討依頼があった。（三重県／自動車部品製造業）
- ・新型コロナウイルス感染症拡大で、春節の訪日客は50万人規模でキャンセル続出、卸売市場の得意先であるホテル・旅館等宿泊施設や料理飲食業が大きな損害を受けた。（京都府／食料品卸売業）
- ・米国とイランの中東緊迫化は事態の収束が早く末端小売価格は大きく崩れることなく推移したが、新型コロナウイルスの影響から原油市場が急落し小売価格も乱れている。（奈良県／石油小売業）

◇人手不足・働き方改革への対応

- ・ゼネコン受注残が高止まりする等、足元の需要に失速感はない。しかし、輸送力と人材不足が一部で目立ち、生産全体の勢いを妨げている。（神奈川県／採石業）
- ・建設業界の動きが鈍く、仕事が少ないためサイドビジネスを模索する動きも見られる。我々の業界も担い手不足が深刻化している。（福島県／鉄工業）
- ・人材確保と働き方改革の工夫が課題であり、増産態勢で対応してはいるが、短納期の仕事が多いため仕事の引き受けが出来ない組合員もいる。（山口県／鉄道車両・同部品製造業）

※後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告（要旨）」等も参照。

1. 景 況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 34.6	▲ 40.2	▲ 5.6	悪化	↘
製造業	▲ 39.8	▲ 43.4	▲ 3.6	悪化	↘
非製造業	▲ 30.7	▲ 37.8	▲ 7.1	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	なし			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	紙・紙加工品、化学・ゴム、電気機器、商店街			
	5～10ポイント	食料品、卸売業、小売業、サービス業			

表2. 業種別【景 況】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	31/1	31/2	31/3	31/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	2/1	前月比
全 体	-23.2	-24.3	-23.5	-22.0	-26.1	-28.3	-28.4	-30.6	-25.2	-34.1	-35.9	-34.6	-40.2	-5.6
製 造 業	-22.5	-26.0	-24.8	-24.3	-30.6	-33.7	-33.0	-36.0	-31.2	-35.2	-40.2	-39.8	-43.4	-3.6
食料品	-33.4	-33.5	-28.8	-24.7	-26.7	-35.2	-34.7	-31.5	-35.8	-33.5	-35.5	-29.0	-37.8	-8.8
繊維工業	-35.0	-36.2	-28.5	-35.8	-43.6	-45.7	-44.9	-48.0	-43.6	-47.2	-56.1	-55.9	-58.7	-2.8
木材・木製品	-20.9	-23.2	-26.3	-23.7	-27.8	-28.5	-23.5	-24.8	-20.0	-32.5	-38.0	-45.1	-42.4	2.7
紙・紙加工品	-42.8	-45.5	-46.2	-31.9	-42.8	-30.5	-35.0	-50.0	-9.5	-20.9	-39.1	-29.2	-43.5	-14.3
印刷	-51.6	-52.5	-37.7	-43.6	-47.6	-47.6	-50.0	-53.2	-30.6	-40.3	-41.9	-42.7	-47.6	-4.9
化学・ゴム	-17.2	-20.7	-35.5	-44.8	-39.3	-44.8	-35.7	-34.5	-40.0	-44.9	-48.3	-42.8	-55.2	-12.4
窯業・土石製品	-16.8	-18.8	-17.9	-10.5	-19.8	-22.0	-20.5	-28.5	-19.9	-18.9	-24.1	-22.6	-23.9	-1.3
鉄鋼・金属	0.0	-12.1	-13.1	-15.4	-26.6	-34.8	-31.7	-36.7	-37.7	-38.9	-40.5	-43.5	-43.8	-0.3
一般機器	-8.9	-13.3	-16.3	-20.4	-28.5	-30.3	-36.3	-42.3	-38.9	-42.8	-48.2	-52.7	-52.6	0.1
電気機器	3.2	-9.4	-13.3	-17.2	-23.3	-26.6	-20.0	-38.0	-16.1	-34.5	-31.0	-21.4	-35.7	-14.3
輸送機器	-18.0	-17.1	-19.0	-16.6	-22.0	-22.0	-23.8	-28.6	-29.2	-38.1	-42.9	-42.9	-46.3	-3.4
その他の製造業	-40.4	-45.1	-41.5	-39.2	-45.3	-37.0	-39.6	-33.3	-19.7	-28.9	-44.4	-44.4	-49.0	-4.6
非 製 造 業	-23.6	-23.0	-22.5	-20.2	-22.8	-24.1	-24.9	-26.4	-20.7	-23.1	-32.6	-30.7	-37.8	-7.1
卸 売 業	-32.5	-38.1	-33.7	-29.6	-35.0	-36.1	-35.4	-39.5	-40.5	-47.9	-45.2	-43.2	-53.2	-10.0
小 売 業	-35.7	-37.0	-36.3	-31.6	-28.9	-32.7	-36.2	-37.3	-22.1	-44.7	-48.4	-39.4	-47.3	-7.9
商 店 街	-35.9	-34.2	-31.1	-32.5	-37.3	-38.1	-38.9	-38.8	-30.6	-47.2	-39.3	-37.5	-52.1	-14.6
サ ー ビ ス 業	-14.2	-6.4	-10.8	-6.8	-11.1	-14.0	-13.8	-17.9	-13.1	-26.7	-23.6	-25.9	-31.6	-5.7
建 設 業	-4.1	-2.5	-3.3	-4.2	-5.8	-5.4	-5.0	-2.9	-3.3	-4.6	-7.0	-6.2	-7.9	-1.7
運 輸 業	-21.4	-26.3	-20.0	-19.7	-27.1	-26.6	-23.9	-26.4	-23.3	-32.5	-32.6	-39.1	-43.4	-4.3
その他の非製造業	-11.1	0.0	-14.3	-11.1	-11.1	3.6	-11.6	-10.7	-3.7	-10.7	-13.8	-10.7	-13.8	-3.1

Pick up!

「紙・紙加工品」：荷動きが悪いため、段ボール等の需要も弱く、景況DIは前月比14.3ポイント悪化。

「商店街」：新型コロナウイルスの影響からインバウンド需要に加え、国内需要も減少しつつあり、景況DIは前月比14.6ポイント悪化。

2. 売 上 高

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 29.1	▲ 36.8	▲ 7.7	悪化	↘
製造業	▲ 32.8	▲ 38.5	▲ 5.7	悪化	↘
非製造業	▲ 26.3	▲ 35.5	▲ 9.2	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	紙・紙加工品、輸送機器			
	5～10ポイント	なし			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	食料品、電気機器、その他の製造業、卸売業、小売業、商店街、運輸業、その他の非製造業			
	5～10ポイント	繊維工業、建設業			

表3. 業種別【売上高】D I の推移（前年同月比）

業 種 名	31/1	31/2	31/3	31/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	2/1	前月比
全 体	-15.8	-14.0	-16.4	-11.8	-20.6	-23.1	-22.9	-26.0	-13.2	-32.8	-31.6	-29.1	-36.8	-7.7
製 造 業	-11.4	-12.1	-15.5	-13.1	-23.2	-25.2	-22.1	-29.5	-17.1	-31.3	-33.9	-32.8	-38.5	-6.7
食料品	-23.1	-23.3	-22.0	-6.7	-18.6	-32.7	-28.1	-24.0	-23.9	-23.5	-26.0	-21.0	-35.8	-14.8
繊維工業	-30.9	-28.4	-24.4	-25.0	-33.4	-37.8	-36.2	-41.7	-27.0	-42.5	-53.9	-48.8	-58.7	-9.9
木材・木製品	-15.7	-12.9	-16.9	-14.9	-25.3	-14.6	-5.2	-17.7	-10.5	-44.8	-27.4	-38.1	-42.5	-4.4
紙・紙加工品	-4.8	0.0	-23.1	-9.1	-19.1	-30.4	-30.0	-45.0	0.0	-4.2	-26.1	-50.0	-21.8	28.2
印刷	-38.7	-37.3	-23.2	-12.9	-42.6	-31.8	-32.3	-33.9	3.2	-29.0	-40.3	-31.1	-34.4	-3.3
化学・ゴム	-17.3	3.4	-16.1	-27.6	-32.1	-20.7	-17.8	-20.7	-3.3	-34.5	-38.0	-35.7	-34.5	1.2
窯業・土石製品	4.3	0.7	-2.4	-7.5	-19.8	-19.1	-8.1	-35.0	-5.9	-22.7	-24.1	-16.8	-18.7	-1.9
鉄鋼・金属	12.3	3.5	-7.3	-8.8	-20.9	-19.5	-23.7	-25.9	-25.3	-30.2	-38.3	-37.7	-40.2	-2.5
一般機器	6.1	-3.5	-10.6	-15.1	-9.9	-19.6	-17.7	-33.3	-24.8	-36.4	-34.8	-42.0	-43.0	-1.0
電気機器	0.0	12.5	0.0	3.5	-16.7	-13.3	-20.0	-24.1	-3.2	-24.1	-20.7	-14.3	-25.0	-10.7
輸送機器	0.0	4.9	-11.9	-7.1	-7.3	-17.0	-16.7	-23.9	-29.3	-33.3	-45.2	-40.5	-29.2	11.3
その他の製造業	-36.6	-33.3	-32.1	-37.2	-49.0	-42.5	-32.1	-31.4	-19.6	-40.4	-42.6	-35.2	-54.9	-19.7
非 製 造 業	-19.1	-15.6	-17.0	-10.8	-18.5	-21.5	-23.6	-23.2	-10.3	-33.9	-29.7	-26.3	-35.5	-9.2
卸 売 業	-25.2	-24.4	-32.7	-8.4	-33.7	-37.9	-36.3	-41.4	-24.4	-45.5	-39.6	-40.4	-53.7	-13.3
小 売 業	-35.4	-36.1	-36.2	-20.6	-22.8	-31.6	-40.6	-36.1	-9.7	-54.7	-45.7	-36.0	-47.9	-11.9
商 店 街	-29.5	-24.8	-20.5	-24.6	-26.1	-35.6	-32.1	-24.4	-10.0	-44.7	-41.1	-30.0	-43.6	-13.6
サービス業	-6.2	2.5	-1.8	5.4	-0.4	-7.1	-6.8	-10.9	-2.5	-29.2	-19.4	-23.1	-22.3	0.8
建 設 業	-2.4	0.0	-1.7	-12.8	-12.9	-2.5	-5.8	-4.5	-5.4	0.9	-8.3	-2.5	-7.5	-5.0
運 輸 業	-19.1	-10.1	-0.8	-6.3	-25.6	-22.7	-21.5	-24.1	-18.6	-28.7	-26.4	-34.4	-48.8	-14.4
その他の非製造業	14.8	18.5	0.0	3.7	-3.7	3.6	0.0	-3.6	11.1	3.6	3.5	21.5	-10.3	-31.8

Pick up!

「輸送機器」：売上水準は芳しくないものの、消費税引き上げ前の水準レベルまで戻し、売上高D I は前月比11.3ポイント上昇。但し、先行きの不透明感は強い。

「卸売業」：消費税の引き上げもあり、流通の動きが鈍く、売上高D I は前月比13.3ポイント悪化。

3. 収益状況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 28.3	▲ 36.0	▲ 7.7	悪化	↘
製造業	▲ 31.0	▲ 37.1	▲ 6.1	悪化	↘
非製造業	▲ 26.3	▲ 35.1	▲ 8.8	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	電気機器			
	5～10ポイント	なし			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	食料品、紙・紙加工品、化学・ゴム、商店街、その他の非製造業			
	5～10ポイント	木材・木製品、印刷、窯業・土石製品、一般機器、その他の製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、運輸業			

表4. 業種別【収益状況】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	31/1	31/2	31/3	31/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	2/1	前月比
全 体	-21.3	-21.8	-21.8	-18.9	-22.9	-25.0	-25.2	-27.3	-19.7	-32.6	-32.1	-28.3	-36.0	-7.7
製 造 業	-20.9	-24.2	-22.1	-20.4	-25.6	-27.8	-26.6	-30.9	-24.5	-31.1	-35.6	-31.0	-37.1	-6.1
食料品	-30.8	-28.4	-25.1	-19.6	-23.7	-35.7	-35.7	-30.5	-31.8	-27.5	-35.0	-24.0	-34.8	-10.8
繊維工業	-27.6	-32.3	-19.5	-32.5	-35.7	-39.4	-38.5	-42.6	-40.4	-42.5	-50.8	-45.7	-48.4	-2.7
木材・木製品	-23.5	-25.9	-24.6	-23.7	-35.7	-17.3	-16.6	-26.5	-16.5	-31.6	-38.1	-34.5	-39.8	-5.3
紙・紙加工品	-52.3	-59.1	-50.0	-31.8	-42.8	-39.2	-45.0	-50.0	-4.8	-8.4	-26.1	-25.0	-43.5	-18.5
印刷	-42.0	-47.5	-36.3	-27.4	-45.9	-47.6	-42.0	-54.9	-25.8	-45.2	-40.4	-31.1	-41.0	-9.9
化学・ゴム	-44.8	-34.5	-38.7	-37.9	-39.3	-34.5	-28.5	-27.6	-36.7	-41.4	-48.3	-21.5	-34.5	-13.0
窯業・土石製品	-8.8	-16.0	-14.1	-7.5	-15.4	-17.6	-8.9	-27.0	-15.4	-17.5	-17.5	-16.1	-21.6	-5.5
鉄鋼・金属	-1.4	-10.7	-13.0	-14.6	-15.9	-21.7	-23.1	-23.0	-24.6	-28.8	-36.2	-32.6	-37.2	-4.6
一般機器	-15.1	-14.2	-21.2	-17.7	-17.0	-21.5	-25.6	-29.7	-21.3	-30.0	-35.7	-40.2	-45.6	-5.4
電気機器	9.4	-3.1	0.0	-6.9	-10.0	-13.3	-13.3	-27.6	0.0	-27.6	-10.4	-17.9	-7.1	10.8
輸送機器	-12.8	-19.5	-21.4	-23.8	-22.0	-26.8	-31.0	-35.7	-43.9	-50.0	-50.0	-47.6	-46.3	1.3
その他の製造業	-32.7	-35.3	-28.3	-25.5	-30.2	-25.9	-20.7	-13.0	-7.1	-34.6	-33.3	-31.5	-37.2	-5.7
非 製 造 業	-21.6	-19.9	-21.5	-17.7	-20.8	-23.0	-24.0	-24.5	-15.9	-33.7	-29.6	-26.3	-35.1	-8.8
卸 売 業	-22.8	-28.1	-28.5	-21.6	-31.4	-31.1	-32.1	-38.2	-32.8	-40.8	-39.6	-39.1	-47.6	-8.5
小 売 業	-32.5	-31.6	-37.8	-26.5	-27.2	-31.9	-38.5	-33.7	-17.5	-46.2	-43.4	-40.4	-47.3	-6.9
商 店 街	-33.9	-26.1	-24.3	-25.8	-32.3	-33.1	-32.7	-28.1	-20.6	-42.8	-37.4	-28.1	-43.6	-15.5
サ ー ビ ス 業	-13.4	-5.7	-7.5	-6.5	-3.9	-9.4	-12.5	-19.0	-6.1	-33.5	-18.8	-17.4	-25.9	-8.5
建 設 業	-9.6	-10.4	-7.5	-8.0	-9.6	-11.2	-7.9	-7.1	-5.3	-10.0	-11.1	-4.6	-12.1	-7.5
運 輸 業	-19.1	-19.4	-20.7	-22.1	-29.4	-27.4	-20.0	-20.9	-21.7	-29.5	-27.1	-31.2	-40.3	-9.1
その他の非製造業	-7.4	-3.7	-14.3	-7.4	-22.2	-10.7	-7.7	-7.2	-3.7	-3.6	-17.2	0.0	-10.4	-10.4

Pick up!

「食料品」：消費の低迷に加え、暖冬の影響から季節ものの食材の動きが悪く、収益状況DIは前月比10.8ポイント悪化。

「運輸業」：荷動きの低下に加え、人手不足による運送機会ロスが発生により、収益状況DIは前月比9.1ポイント悪化。

4. 資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1) 資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 14.6	▲ 17.0	▲ 2.4	悪化	↘
製造業	▲ 15.0	▲ 16.3	▲ 1.3	悪化	↘
非製造業	▲ 14.3	▲ 17.5	▲ 3.2	悪化	↘
(2) 販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 0.5	▲ 2.6	▲ 2.1	悪化	↘
製造業	▲ 0.5	▲ 2.5	▲ 2.0	悪化	↘
非製造業	▲ 0.5	▲ 2.7	▲ 2.2	悪化	↘
(3) 取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 8.0	▲ 9.4	▲ 1.4	悪化	↘
製造業	▲ 6.8	▲ 8.2	▲ 1.4	悪化	↘
非製造業	▲ 8.8	▲ 10.2	▲ 1.4	悪化	↘
(4) 設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 21.1	▲ 26.5	▲ 5.4	悪化	↘
(5) 雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 11.4	▲ 12.2	▲ 0.8	悪化	↘
製造業	▲ 8.2	▲ 8.1	0.1	上昇	↗
非製造業	▲ 13.8	▲ 15.2	▲ 1.4	悪化	↘
(6) 在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 7.6	▲ 9.9	▲ 2.3	悪化	↘
製造業	▲ 6.9	▲ 8.5	▲ 1.6	悪化	↘
非製造業	▲ 8.7	▲ 12.0	▲ 3.3	悪化	↘

Calendar 2020

～～ 国内外の主なトピックス（令和 2 年 2 月）～～

2月10日（月）	1月の景気ウォッチャー調査：内閣府。街角景気の景況判断指数は前月比プラス2.2上昇し、41.9となった。3か月連続の上昇。
2月17日（月）	19年10～12月の実質GDP：内閣府。前期比の年率で6.3%減と大きく落ち込み。5四半期ぶりのマイナス成長。
2月19日（水）	機械受注統計：内閣府。1～3月期は前期比5.2%減の見通し。先行指標であり、景気の腰折れ懸念あり。
2月20日（木）	工作機械受注額：日本機械工作工業会。1月の工作機械受注額は中国向けは前年同月比35.4%減の107億円で23か月連続のマイナス。
2月20日（木）	2月の月例経済報告：内閣府。景気は、輸出が弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。
2月28日（金）	1月の失業率・有効求人倍率発表予定。

表5. 主要指標の業種別 D I(前年同月比)

(令和2年1月末現在)

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
全体	-40.2	-36.8	-36.0	-2.6	-9.4	-17.0	-26.5	-12.2	-9.9
製造業	-43.4	-38.5	-37.1	-2.5	-8.2	-16.3	-26.5	-8.1	-8.5
非製造業	-37.8	-35.5	-35.1	-2.7	-10.2	-17.5		-15.2	-12.0

(製造業)

業種名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
食料品	-37.8	-35.8	-34.8	4.5	-8.5	-16.9	-19.4	-12.9	-8.4
繊維工業	-58.7	-58.7	-48.4	-11.9	-18.2	-29.4	-37.3	-15.8	-13.5
木材・木製品	-42.4	-42.5	-39.8	-9.7	-6.2	-23.9	-24.8	-4.4	-8.0
紙・紙加工品	-43.5	-21.8	-43.5	13.0	0.0	-17.4	-30.5	0.0	8.7
印刷	-47.6	-34.4	-41.0	-16.4	-21.3	-26.2	-29.5	-16.4	-11.5
化学・ゴム	-55.2	-34.5	-34.5	-6.9	-6.9	-6.9	-24.1	3.5	13.8
窯業・土石製品	-23.9	-18.7	-21.6	20.9	-1.5	-5.3	-9.7	-11.2	-6.7
鉄鋼・金属	-43.8	-40.2	-37.2	-6.6	-4.4	-8.0	-31.4	-2.2	-8.1
一般機器	-52.6	-43.0	-45.6	-6.1	-7.8	-16.7	-41.2	0.8	-12.3
電気機器	-35.7	-25.0	-7.1	-14.3	-3.5	-3.6	-25.0	0.0	-10.8
輸送機器	-46.3	-29.2	-46.3	-12.2	-4.9	-12.2	-24.4	-4.9	-7.3
その他の製造業	-49.0	-54.9	-37.2	-7.9	-9.8	-19.6	-27.5	-13.7	-9.8

(非製造業)

業種名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
卸売業	-53.2	-53.7	-47.6	-15.9	-15.4	-16.8		-9.8	-8.4
小売業	-47.3	-47.9	-47.3	-3.0	-15.0	-27.6		-20.0	-11.2
商店街	-52.1	-43.6	-43.6	-1.2	-9.8	-29.4		-12.9	-18.4
サービス業	-31.6	-22.3	-25.9	-0.3	-7.4	-11.3		-17.0	
建設業	-7.9	-7.5	-12.1	0.4	-6.7	-5.4		-11.2	
運輸業	-43.4	-48.8	-40.3	6.2	-3.9	-17.0		-21.7	
	-13.8	-10.3	-10.4	0.0	0.0	3.4		0.0	

表6. 主要指標の業種別景況調査総括表(前年同月比)

(令和 2年 1月 末現在)
(単位: %)

業 種	項 目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働率			雇 用 人 員			在庫数量		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
全 体	卸 売 業	2.5	54.8	42.7	10.7	41.7	47.5	4.3	55.5	40.3	10.1	77.2	12.7	1.3	88.0	10.7	1.8	79.4	18.8	5.3	62.9	31.8	3.5	80.7	15.7	8.2	73.7	18.1
	製 造 業	2.1	52.5	45.5	10.5	40.5	49.0	4.3	54.3	41.4	7.5	82.5	10.0	1.6	88.6	9.8	2.2	79.3	18.5	5.3	62.9	31.8	5.5	80.9	13.6	7.8	75.9	16.3
非 鉄 製 造 業	鉄 鋼 業	2.8	56.7	40.6	10.9	42.6	46.4	4.3	56.3	39.4	12.0	73.2	14.7	1.1	87.6	11.3	1.5	79.5	19.0	0.0	0.0	0.0	2.1	80.6	17.3	8.8	70.4	20.8

(製造業)

業 種	項 目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働率			雇 用 人 員			在庫数量		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
食 料 品	食 料 品	1.5	59.2	39.3	9.5	45.3	45.3	2.5	60.2	37.3	10.0	84.6	5.5	0.0	91.5	8.5	2.5	78.1	19.4	6.5	67.7	25.9	3.5	80.1	16.4	7.0	77.6	15.4
	繊 維 工 業	0.0	41.3	58.7	3.2	34.9	61.9	1.6	48.4	50.0	1.6	84.9	13.5	1.6	78.6	19.8	0.0	70.6	29.4	2.4	57.9	39.7	4.8	74.6	20.6	8.7	69.0	22.2
木 材 ・ 木 製 品	木 材 ・ 木 製 品	1.8	54.0	44.2	8.8	39.8	51.3	4.4	51.3	44.2	6.2	77.9	15.9	0.0	93.8	6.2	0.0	76.1	23.9	0.9	73.5	25.7	6.2	83.2	10.6	10.6	70.8	18.6
	紙 ・ 紙 加 工 品	8.7	39.1	52.2	21.7	34.8	43.5	8.7	39.1	52.2	21.7	69.6	8.7	4.3	91.3	4.3	4.3	73.9	21.7	4.3	60.9	34.8	8.7	82.6	8.7	21.7	65.2	13.0
化 学 ・ ゴ ム	印 刷	1.6	49.2	49.2	13.1	39.3	47.5	3.3	52.5	44.3	1.6	80.3	18.0	0.0	78.7	21.3	0.0	73.8	26.2	6.6	57.4	36.1	4.9	73.8	21.3	4.9	78.7	16.4
	化 学 ・ ゴ ム	0.0	44.8	55.2	10.3	44.8	44.8	3.4	58.6	37.9	3.4	86.2	10.3	3.4	86.2	10.3	3.4	86.2	10.3	6.9	62.1	31.0	13.8	75.9	10.3	24.1	65.5	10.3
窯 業 ・ 土 石 製 品	窯 業 ・ 土 石 製 品	6.0	64.2	29.9	20.9	39.6	39.6	9.7	59.0	31.3	23.1	74.6	2.2	2.2	94.0	3.7	3.7	87.3	9.0	11.9	66.4	21.6	0.7	87.3	11.9	5.2	82.8	11.9
	鉄 鋼 ・ 金 属	2.2	51.8	46.0	8.0	43.8	48.2	4.4	54.0	41.6	5.1	83.2	11.7	4.4	86.9	8.8	2.2	87.6	10.2	5.1	58.4	36.5	7.3	83.2	9.5	5.8	80.3	13.9
一 般 機 器	一 般 機 器	0.0	47.4	52.6	7.9	41.2	50.9	0.9	52.6	46.5	1.8	90.4	7.9	1.8	88.6	9.6	2.6	78.1	19.3	3.5	51.8	44.7	9.6	81.6	8.8	7.0	73.7	19.3
	電 気 機 器	0.0	64.3	35.7	17.9	39.3	42.9	17.9	57.1	25.0	3.6	78.6	17.9	3.6	89.3	7.1	10.7	75.0	14.3	7.1	60.7	32.1	7.1	85.7	7.1	7.1	75.0	17.9
輸 送 機 器	輸 送 機 器	4.9	43.9	51.2	17.1	36.6	46.3	4.9	43.9	51.2	0.0	87.8	12.2	2.4	90.2	7.3	2.4	82.9	14.6	7.3	61.0	31.7	7.3	80.5	12.2	7.3	78.0	14.6
	その他の製造業	2.0	47.1	51.0	3.9	37.3	58.8	2.0	58.8	39.2	3.9	84.3	11.8	0.0	90.2	9.8	2.0	76.5	21.6	0.0	72.5	27.5	3.9	78.4	17.6	5.9	78.4	15.7

(非製造業)

業 種	項 目	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働率			雇 用 人 員			在庫数量		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
卸 売 業	卸 売 業	0.5	45.8	53.7	6.1	34.1	59.8	1.9	48.6	49.5	9.3	65.4	25.2	0.0	84.6	15.4	1.4	80.4	18.2				2.3	85.5	12.1	11.7	68.2	20.1
	小 売 業	1.8	49.1	49.1	10.6	30.9	58.5	2.1	48.5	49.4	18.2	60.6	21.2	0.3	84.4	15.3	0.6	71.2	28.2				1.2	77.6	21.2	8.5	71.8	19.7
商 店 街	商 店 街	0.0	47.9	52.1	6.7	42.9	50.3	1.8	52.8	45.4	12.3	74.2	13.5	0.0	90.2	9.8	0.0	70.6	29.4				1.2	84.7	14.1	5.5	70.6	23.9
	サ ー ビ ス 業	2.8	62.8	34.4	14.2	49.3	36.5	7.1	59.9	33.0	9.6	80.5	9.9	3.2	86.2	10.6	2.5	83.7	13.8				2.5	78.0	19.5			
建 設 業	建 設 業	8.3	75.5	16.2	16.2	60.2	23.7	6.6	74.7	18.7	9.1	82.2	8.7	0.8	91.7	7.5	2.9	88.8	8.3				2.9	83.0	14.1			
	運 輸 業	1.6	53.5	45.0	7.8	35.7	56.6	5.4	48.8	45.7	10.9	84.5	4.7	2.3	91.5	6.2	0.8	81.4	17.8				1.6	75.2	23.3			
その他の非製造業	その他の非製造業	6.9	72.4	20.7	13.8	62.1	24.1	10.3	69.0	20.7	10.3	79.3	10.3	3.4	93.1	3.4	3.4	96.6	0.0				6.9	86.2	6.9			

表7. 全国及び各地域別の【業界の景況・売上高・収益状況】(前年同月比)

令和 2年 1月 末現在)

〔全 国〕

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
業 種												
全 体	2.5	54.8	42.7	-40.2	10.7	41.7	47.5	-36.8	4.3	55.5	40.3	-36.0
製 造 業	2.1	52.5	45.5	-43.4	10.5	40.5	49.0	-38.5	4.3	54.3	41.4	-37.1
非製造業	2.8	56.7	40.6	-37.8	10.9	42.6	46.4	-35.5	4.3	56.3	39.4	-35.1

〔近畿地方〕

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
業 種												
全 体	2.2	48.9	48.9	-46.7	10.2	38.7	51.1	-40.9	4.4	52.6	43.1	-38.7
製 造 業	0.8	46.2	53.0	-52.2	10.6	34.1	55.3	-44.7	5.3	49.2	45.5	-40.2
非製造業	3.5	51.4	45.1	-41.6	9.9	43.0	47.2	-37.3	3.5	55.6	40.8	-37.3

滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県

〔北海道・東北地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
業 種												
全 体	2.8	52.8	44.5	-41.7	11.0	42.0	47.0	-36.0	4.7	52.5	42.8	-38.1
製 造 業	3.1	50.0	46.9	-43.8	10.0	39.2	50.8	-40.8	4.6	53.1	42.3	-37.7
非製造業	2.6	54.3	43.1	-40.5	11.6	43.5	44.8	-33.2	4.7	52.2	43.1	-38.4

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

〔中国地方〕

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
業 種												
全 体	1.2	61.7	37.0	-35.8	15.6	38.7	45.7	-30.1	5.8	60.5	33.7	-27.9
製 造 業	0.9	65.5	33.6	-32.7	14.2	44.2	41.6	-27.4	4.4	62.8	32.7	-28.3
非製造業	1.5	58.5	40.0	-38.5	16.9	33.8	49.2	-32.3	6.9	58.5	34.6	-27.7

〔関東・甲信越地方〕

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
業 種												
全 体	2.8	55.9	41.3	-38.5	10.6	43.8	45.6	-35.0	3.9	56.1	40.0	-36.1
製 造 業	1.9	54.3	43.8	-41.9	12.0	40.4	47.6	-35.6	4.5	54.3	41.2	-36.7
非製造業	3.5	57.1	39.5	-36.0	9.6	46.1	44.3	-34.7	3.5	57.3	39.2	-35.7

徳島県、香川県、愛媛県、高知県

〔四国地方〕

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
業 種												
全 体	5.1	58.9	36.0	-30.9	10.9	44.6	44.6	-33.7	4.6	61.7	33.7	-29.1
製 造 業	6.4	61.5	32.1	-25.7	10.3	52.6	37.2	-26.9	5.1	67.9	26.9	-21.8
非製造業	4.1	56.7	39.2	-35.1	11.3	38.1	50.5	-39.2	4.1	56.7	39.2	-35.1

〔東海・北陸地方〕

静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県

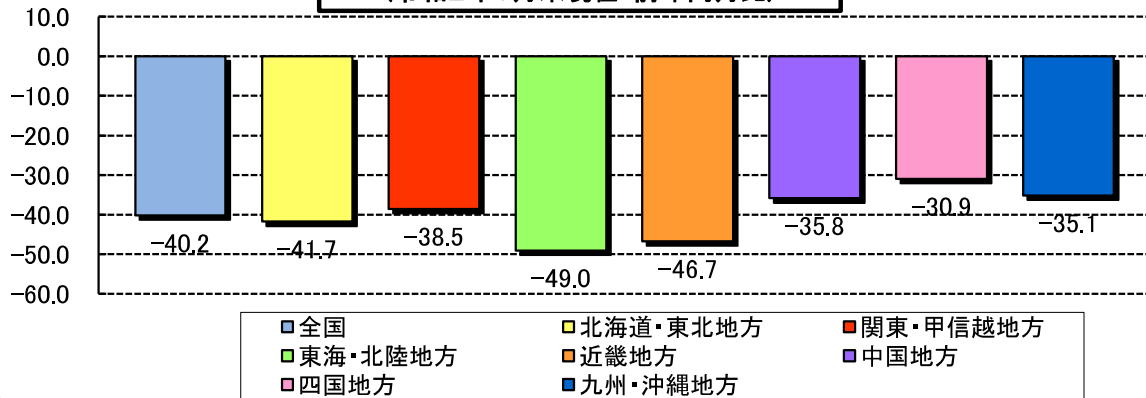
項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
業 種												
全 体	1.8	47.4	50.8	-49.0	7.8	39.1	53.1	-45.3	3.1	47.9	49.0	-45.9
製 造 業	1.6	37.7	60.7	-59.1	6.8	34.6	58.6	-51.8	2.6	41.4	56.0	-53.4
非製造業	2.1	56.9	41.0	-38.9	8.7	43.6	47.7	-39.0	3.6	54.4	42.1	-38.5

〔九州・沖縄地方〕

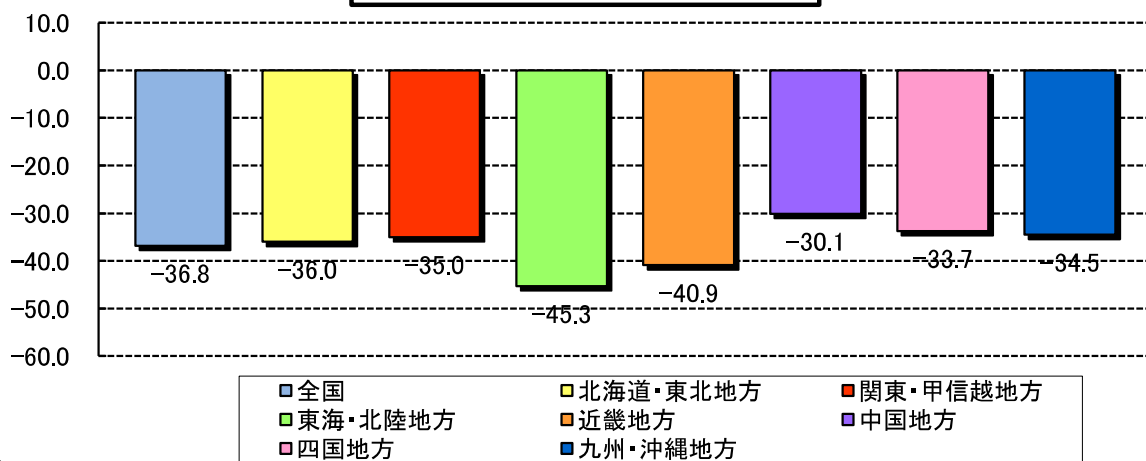
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

項 目	業界の景況				売上高				収益状況			
	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
業 種												
全 体	2.1	60.7	37.2	-35.1	11.0	43.6	45.5	-34.5	4.5	61.0	34.5	-30.0
製 造 業	2.0	61.2	36.7	-34.7	10.2	46.3	43.5	-33.3	4.1	63.3	32.7	-28.6
非製造業	2.2	60.4	37.4	-35.2	11.5	41.9	46.7	-35.2	4.8	59.5	35.7	-30.9

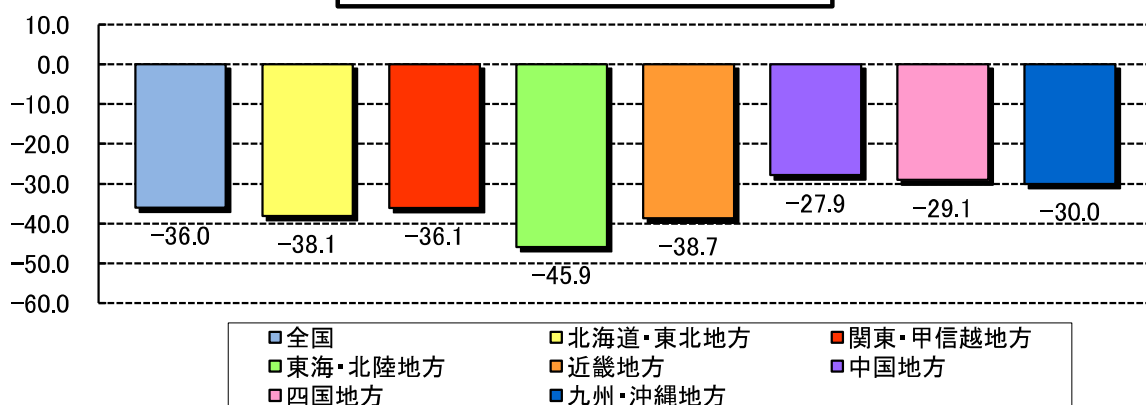
全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)】
(令和2年1月末現在・前年同月比)



全国及び各地域別の【売上高DI(全体)】
(令和2年1月末現在・前年同月比)



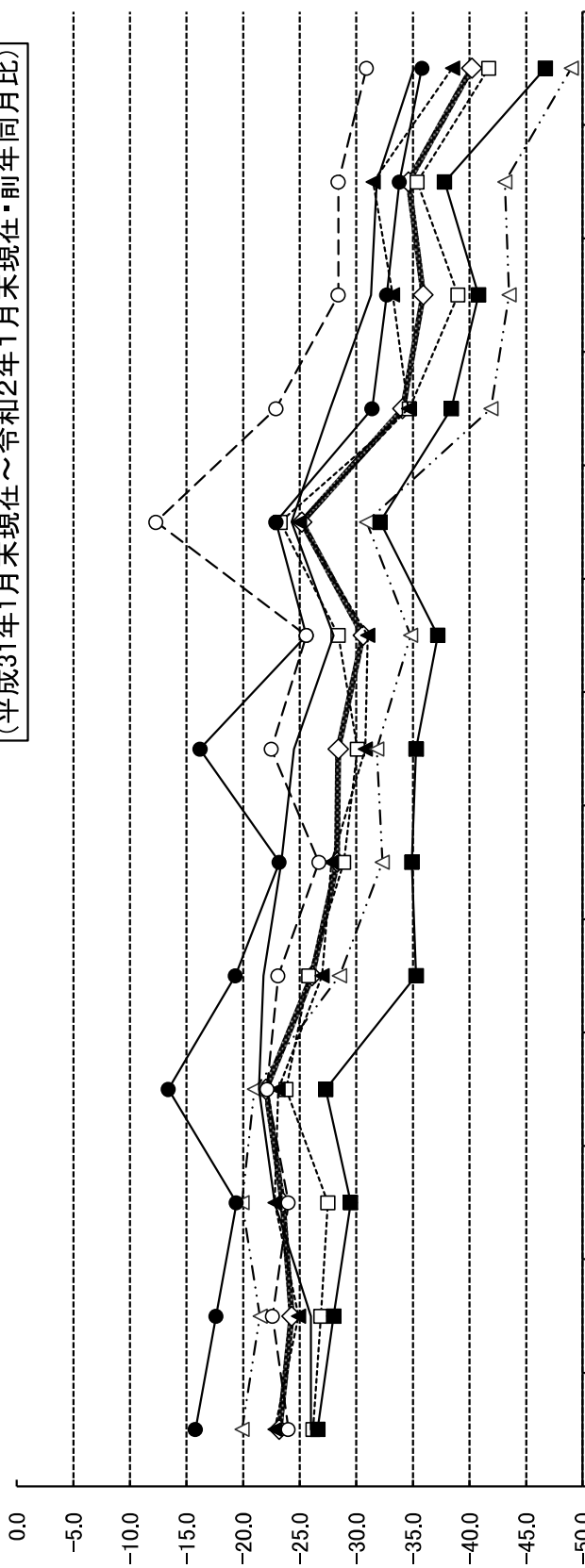
全国及び各地域別の【収益状況DI(全体)】
(令和2年1月末現在・前年同月比)



〔北海道・東北地方〕
〔関東・甲信越地方〕
〔東海・北陸地方〕
〔近畿地方〕
〔中国地方〕
〔四国地方〕
〔九州・沖縄地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県
静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
徳島県、香川県、愛媛県、高知県
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)の推移】
(平成31年1月末現在～令和2年1月末現在・前年同月比)



	31年 1月末	2月末	3月末	4月末	令和元年 5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	令和2年 1月末
系列1	-23.2	-24.3	-23.5	-22.0	-26.1	-28.3	-28.4	-30.6	-25.2	-34.1	-35.9	-34.6	-40.2
系列2	-26.2	-26.9	-27.5	-23.8	-25.8	-28.9	-30.1	-28.4	-23.3	-34.7	-39.0	-35.4	-41.7
系列3	-22.8	-24.9	-22.8	-23.1	-27.0	-27.8	-30.8	-31.0	-25.0	-34.6	-33.2	-31.5	-38.5
系列4	-19.9	-21.5	-19.9	-21.0	-28.5	-32.3	-31.8	-34.8	-30.9	-41.9	-43.5	-43.1	-49.0
系列5	-26.6	-28.0	-29.5	-27.3	-35.3	-34.9	-35.3	-37.2	-32.1	-38.4	-40.8	-37.8	-46.7
系列6	-15.8	-17.6	-19.4	-13.4	-19.3	-23.2	-16.2	-25.6	-22.9	-31.4	-32.7	-33.8	-35.8
系列7	-24.0	-22.6	-24.0	-22.1	-23.1	-26.7	-22.5	-25.6	-12.3	-22.9	-28.4	-28.4	-30.9
系列8	-26.0	-26.0	-22.8	-21.4	-21.8	-23.4	-24.5	-28.0	-24.3	-27.7	-31.3	-31.8	-35.1

〔北海道・東北地方(系列2)〕 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
〔関東・甲信越地方(系列3)〕 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県
〔東海・北陸地方(系列4)〕 静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
〔近畿地方(系列5)〕 滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
〔中国地方(系列6)〕 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
〔四国地方(系列7)〕 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
〔九州・沖縄地方(系列8)〕 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※系列1は全国の数値です。

情報連絡員からの報告（要旨）

《製造業》

食料品製造業

1. **＜北海道 飲料＞**
1月は消費税増税の影響が和らいでくると期待したが、消費者の節約志向は変わらない。新型肺炎の影響は予想外に大きく、旅行客の減少、人が集まるイベントでの客数減、大型店舗の客数減につながった。
2. **＜千葉県 パン・菓子製造＞**
今年度は、洋菓子店1店、パン製造（主婦が週1～2日開店）の組合加入があった。今後も主婦の起業及び以前と異なる組合加入者があると思われる。
3. **＜新潟県 菓子製造業＞**
記録的な暖冬で、客足は伸びたが客単価は伸びていない。節約志向による買い控え傾向が続いていると思われる。
4. **＜岐阜県 米菓＞**
昨年10月以降スポットでの取引が急上昇し、土日休みなしの企業がある。もともと従業員15名程の会社であり、募集をかけても人が集まらない。現状で他の組合員からも同様の声を聞き人手不足は深刻である。
5. **＜三重県 漬物＞**
生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。外国人技能実習生を対象とした外国人技能実習評価試験を今後に予定している。
6. **＜沖縄県 豆腐・油揚げ＞**
温かい気温が続いており鍋料理が減少し豆腐の売り上げも伸び悩んでいる。加えて、人手不足の影響で休日を増やし、返品を減らす目的で製造を控える傾向も売上減少に繋がっている。

繊維・同製品製造業

7. **＜秋田県 ニット＞**
春夏物の生産時期になり、各社ともに前年並みの受注は確保している。一部で新型コロナウイルス発生によって中国生産スケジュールが未定となっているため、国内工場の生産枠確保の打診も始まっている。
8. **＜山形県 繊維工業＞**
呉服は、男物着尺、袴、女物着尺や袖、紵といった商品の動きはあまりみられず良くない状況。輸出物は中国での新型コロナウイルスの影響で商談ができず厳しい状況である。
9. **＜群馬県 外衣・シャツ製造業＞**
暖冬の影響で冬物の売行きが良くない。さらに、新型コロナウイルスの影響で消費者、特にインバウンドが店頭になくなってきている。
10. **＜大阪府 靴下製造業＞**
冬物、特にタイツの売上が良くない。ウール素材の商材も暖冬の影響で売れていない。月末からの新型コロナウイルス騒動で百貨店や人の集まるモールへの外出も控える人が増えている。
11. **＜山口県 外衣・シャツ製造業＞**
年度末に向けての受注増で、2月、3月の生産はキャパオーバーに近い状態である。4月以降の引き合いもあり。
12. **＜香川県 手袋＞**
防寒用手袋は暖冬のため販売不振である。ゴルフ手袋はゴルフ場に雪もなく、対前年比を上回りそうだが、全体では対前年比を大きく下回る予想であり、在庫が増え、来期の生産にも影響しそうである。

木材・木製品製造業

13. **＜北海道 一般製材＞**
中国経済低迷の影響から自動車関連の動きが悪いことに起因する製材受注量の減少。更に新型肺炎による経済の影響も今後の懸念材料である。
14. **＜神奈川県 家具＞**
住宅着工は減少局面、オリンピック需要も底をつき、小売、造り込み家具、修繕とも、売上・採算は厳しく、不振が続く。消費税増税後の落ち込みは、駆け込みもなかったことにより大きな変動ではない。
15. **＜和歌山県 製材業＞**
全国的に1月は好天で国産材の供給が増加し、価格面は軟化した。和歌山県内の原木市では年末から初市にかけて供給量がやや増加したが、例年のこの時期の傾向と同様となっている。
16. **＜岡山県 製材＞**
原木の出材は、雪の影響も無く年明け後も順調である。特に品薄感が高かった桧が回復し価格も安定してきている。杉は安定した取引となっている。

17. < 山 口 県 製材業・木製品製造業 >

消費増税の影響による売上減が感じられる。輸送費高騰により地方がより不利になっている。

18. < 熊 本 県 一般製材業 >

全体的には、やや停滞傾向。原木価格は出材状況が好調で下げ傾向。製品価格はここにきて停滞傾向にあり若干下げ傾向である。しばらくこの現状が続くことが予測される。

紙・紙加工品製造業

19. < 群 馬 県 紙製容器製造業 >

好天続きとなり、青果物の価格下落とともに出荷用段ボールの前倒し需要が発生している。

20. < 東 京 都 紙製品製造業 >

新型コロナウイルスの影響により、学童を対象とした業界イベントへの来場者が減少した。これから需要期を迎える学童向け文具紙製品の売れ行き不振が懸念される。

21. < 愛 知 県 段ボール >

中国で発生した新型肺炎の影響からインバウンド期待の食品・土産物関係の受注が急減し、景況が悪化している。加えて古紙価格が値下がり気味の為、コストアップ要因となる事も気かりである。

22. < 三 重 県 紙器段ボール >

暖冬の影響で食品、海産物向けの段ボールケースの需要が少ない状況である。インフルエンザの流行、新型肺炎の影響で医療向け（消毒液、アルコール類など）の段ボールケースの出荷が増えている。

23. < 京 都 府 紙製容器製造業 >

全体的に低調なスタートとなり需要が減少傾向にあるため、大手メーカーはシート販売よりケース販売に力を入れる方針で、中小のボックス製造業者は競合が懸念される。

24. < 高 知 県 機械すきと紙製造業 >

全般的に家庭紙の荷動きは良くないが、これからは、花粉飛散の時期となり、保湿ティッシュ等の需要が期待される。店頭販売価格については、今のところ値崩れは起きていない。

印刷

25. < 福 島 県 印刷・同関連業印刷 >

各社とも前年割れの売上が続いており苦戦している。収益の面においても用紙の値上げ、原材料費のコストが上昇しており、大きな影響が出ている。

26. < 三 重 県 印刷 >

年度末の繁忙期に向けてようやく受注が増加してきた。しかしこの時期は印刷の前段階の制作等に作業が集中するため、製品の納品には至らぬものが多く、収益の増加につながるのは次月以降になる。

27. < 大 阪 府 シール印刷業 >

1月は12月の反動ですべての領域で受注減。特に暖冬の影響で食品・衣料関係が影響を受けている。その中で化粧品・医薬品等の特殊ラベルは堅調な動きである。

28. < 徳 島 県 印刷・同関連業印刷 >

1月は年末年始の商業チラシの需要も伸びず。その他の需要も停滞模様。人手不足が深刻な会社も出てきている。

29. < 高 知 県 印刷業 >

県内需要の官公需及び民需はまずまずの推移。県外需要も業種によりばらつきはあるが昨年並み。全体で徐々に前年同等な数字を確保した模様。

30. < 宮 崎 県 印刷・同関連業印刷 >

例年よりも仕事量が減少しているようである。これから年度末に向けて好転していくことを望むが、コロナウイルス等による経済活動の制限が出てきて、ますます仕事量が少なくなるように思われる。

化学・ゴム

31. < 東 京 都 ゴム製品製造業 >

受注減少と受注過多により納期が間に合わない組合員との2極化が進んでいる。受注が減少している組合員においては、海外からの問い合わせがあるが、価格面での折り合いがつかない状況である。

32. < 愛 知 県 高圧ガス >

収益改善の為、販売価格は正の動きが顕著となってきた。高圧ガス配送員の高齢化に伴い人員不足が深刻となっている。

33. < 京 都 府 プラスチック製品製造業 >

昨年末と大きな変化はないが、受注の減少により在庫数量の増加や、雇用人員が多すぎる弊害が出始めている。新型コロナウイルスによる経済の停滞の懸念が出ている。

34. < 大 阪 府 石鹼洗剤製造業 >

洗浄剤等全体では販売数量・金額共に減少。石鹼は手洗い用液体が前年を上回っているが、洗顔・ボディ用身体洗浄剤は低調である。合成洗剤は洗濯用の液体・中性と住宅・家具用が前年を上回っている。

35. < 島 根 県 プラスチック製品製造業 >

中国、欧州向けアイテム、自動車向け部品、産業機器部品、コネクタ全般等について停滞している。環境負荷物質調査への対応や、それに伴う商流管理等、客先からの管理要請が年々厳しくなっている。

36. < 広 島 県 プラスチック製品製造業 >

自動車関連の売上・操業度も減少傾向が続く中、今回の新型コロナウイルスの影響で、益々減少し、先行きが不安定となっている。

窯業・土石製品製造業

37. < 群 馬 県 骨材・石工品等製造業 >

昨年の台風19号で被災した地域の復旧工事があった。積雪も少なかったことで順調な生産となり、出荷量・売上高が増加。

38. < 東 京 都 砕石製造業 >

冬場に危惧される降雪の影響は殆どなく、昨年9月以降落ち込んでいた生産量も回復してきている。一方、運転手不足が顕著であり、輸送車両の確保に多くの組合員が苦慮している。

39. < 神 奈 川 県 砕石 >

ゼネコン受注残が高止まりする等、足元の需要に失速感はない。しかし、輸送力と人材不足が一部で目立ち、生産全体の勢いを妨げている。

40. < 山 梨 県 骨材・石工品等製造業 >

繁忙期を迎え需給量が増加している。特に砂の需要が多く砂不足が続いている。資材価格の高騰、経費増大から4月より骨材価格の値上げを実施する。

41. < 岐 阜 県 タイル >

新規需要開拓に向け様々な取り組みを実施中。特にSNSを活用したPRに注力し、Instagram、ROOM CLIPといった投稿サイトを活用するなど、内装タイルを中心に積極的な展開が見られる。

42. < 山 口 県 石工品製造業 >

今年の冬は暖かく、加工・設置は順調に進み、工期の遅れ等の話は聞かない。仕事量については、相変わらず減ってきている。

鉄鋼・金属製造業

43. < 青 森 県 鉄工製造業 >

手持ち工数量・工場平均稼働率ともに大きな変化はなかった。昨年続いていた鋼材入手難は改善されつつあるが、春先に向けての仕事量の確保が不透明な為、組合員同士の情報共有や連携強化が必要である。

44. < 福 島 県 鉄工工業 >

建設業界の動きが鈍く、仕事が少ないためサイドビジネスを模索する動きも見られる。我々の業界も担い手不足が深刻化している。

45. < 東 京 都 一般缶製造業 >

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のため来日する外国人観光客向けの缶容器は好評であり、今後に期待が持てる。

46. < 愛 知 県 特殊鋼 >

鉄鋼業界の経営環境が急速に悪化。米国が鋼材の輸入関税を引き上げ、米国に向かっていた製品がアジアや欧州でだぶついている。一方で中国は景気刺激策で過去最高の増産を続けている状況である。

47. < 滋 賀 県 機械部品 >

産業用弁は、国内需要全体の景況が緩やかに推移しており回復してきた。水道用弁と船用弁が堅調に推移しており、先月より回復してきた模様。

48. < 徳 島 県 ステンレス >

米中貿易摩擦による不透明感も継続しているが、新たに、新型コロナウイルスによる中国経済への打撃により資材調達等に遅れも発生し始めており、今後長期化による世界経済への影響が懸念される。

一般機器製造業

49. < 埼 玉 県 一般機械機器製造業 >

新型肺炎による景気後退が懸念される。中国へ進出している企業では、出張の変更やマスクを買い集め、現地へ送付する等対応に追われている。

50. < 新 潟 県 機械器具製造業 >

景況感が年明け急激に悪化の様相。益々受注が短納期化して来ている。

51. < 富 山 県 非金属用金型製造業 >

金型業界の動向を、種々製造業の先行指標としてみた場合、ものづくり製造業全般において、広く暗雲が垂れ込めている。

52. < 山 梨 県 工作機械部品加工業 >

在庫調整が進み、受注が少し増加しつつある。

53. < 長 野 県 一般機械器具製造業 >

受注環境はよくない事業者が多い。求人に関する応募はかなり活発であり、人手不足感は解消されてきている。

54. < 静 岡 県 生産用機械器具製造業 >

新型肺炎の発生により、中国出張を見合わせる組合員がいるほか、中国発の部品供給網に懸念を示しており、景気減速感を増長させている。

電気機器製造業

55. < 山 梨 県 電気機械器具製造業 >

受注の動きは相変わらず鈍い。更なるコスト競争に対応していかなければ生き残れないと感じている。

56. < 長 野 県 電子機械器具製造業 >

中国の新型コロナウイルスの影響等があり、各企業依然として厳しい状況。世界的に景気変動が激しく、対応がとても難しい。情報等をアンテナを高くして対応していきたい。

57. < 静 岡 県 電気機械器具製造業 >

ルームエアコンは好調であった昨年と比較して生産減少し、冷蔵庫は新機種効果により増加した。業務用エアコンは学校空調需要がピークを過ぎたこともあり生産は昨年を下回った。

58. < 三 重 県 鳥羽 >

期末の受発注量は増えず、状況としては危機感を感じている。15%ダウンで推移している。

59. < 京 都 府 電機機械器具製造業 >

見積もり照会件数、受注残において全体に減少傾向がみられ、次月以降の売上高の動向を注視している。

60. < 長 崎 県 電気機器 >

前年同月比において売上高は減少、収益状況及び資金繰りは共に変化なし。

輸送用機器製造業

61. < 茨 城 県 自動車部品 >

売上は増加傾向となったが、先行きは不透明。

62. < 愛 知 県 輸送機器 >

工作機械部品関係も生産量落込みがみられ、人員余剰感が出ている。

63. < 三 重 県 自動車部品 >

全体的に受注量は減っているが、新型コロナウイルスの影響による中国の生産拠点の休業やリスク分散の目論見により、一部の製品では増産や移管受け入れの検討依頼があった。

64. < 兵 庫 県 輸送用機器製造業 >

売上高全体では前月より多少増額となったものの取引部門全般の操業予測は依然厳しいものがあり、今後の売上高の見通しは予断を許さない状況である。

65. < 山 口 県 鉄道車両・同部品製造業 >

人材確保と働き方改革の工夫が課題であり、増産態勢で対応してはいるが、短納期の仕事が多いため仕事の引き受けが出来ない組合員もいる。

66. < 香 川 県 造船 >

親会社はガス船、特殊船に特化し、受注に向けて努力しているが厳しい状況が続いている。また、人員も減少している。

その他の製造業

67. < 千 葉 県 土砂採取 >

今年度、生コン用骨材と土木用骨材は低迷状態が続くものと思われる。また、高齢運転手の引退等による人材不足感がますます強まると見られ、骨材輸送への危機感が募る。

68. < 東 京 都 スポーツ用品製造業 >

卓球用品市場は卓球への関心が高く着実に拡大している。要因として日本選手の国際大会での活躍や2年目を迎えたTリーグの存在がある。それらに憧れる小・中・高校生の部活動が活況となっている。

69. < 山 梨 県 貴金属・宝石製品製造業 >

消費増税後の国内の売上高や生産量は減少している。中国向けの取り引きが新型肺炎により悪化するのではないかと懸念している。

70. < 静 岡 県 その他 >

生産ラインの海外への移転、資材調達においての海外との価格競争の激化により、コスト低減がより一層求められてきている。

71. < 兵 庫 県 その他製造業 >

皮革業界も持続できる産業を目指して努力している。季節商品部分が動いているが、業界内でも活気があるように見える部分と無い部分の差が相変わらず激しい。

72. < 香 川 県 漆器 >

韓国からの観光客の減少に加え、中国の新型コロナウイルスによる来日客の減少に伴い、観光物産館等外国の方が立ち寄る施設の来場者が減少し、売り上げにも大きく影響している。

《非製造業》

卸売業

73. <宮城県 繊維製品>
暖冬に加えて、新型コロナウイルス発生で店頭の来客が激減した。マスクの問い合わせが毎日続いている。
74. <埼玉県 卸売業>
暖冬の影響か、魚種の入荷状況も変化し、一般的に大衆魚だったものが今では高級魚と変わらないくらいの高値で取引。また、消費者の魚離れも加速して売上減に悩む仲卸もある。
75. <山梨県 ジュエリー製品卸売業>
米中、米イラン、香港デモに加えて新型肺炎の影響から当業界は厳しい環境下にある。3月に予定されていた香港ジュエリーショーは5月に順延される。
76. <東京都 美容用品卸売業>
新型コロナウイルスの感染拡大により人混みを避け、外出を控える傾向から、美容室の売上が減少している。
77. <石川県 各種商品卸売業>
消費増税後3カ月が経過したが、賃上げが物価上昇に追い付かず、このため景気を支える個人消費が弱く、卸売・サービス業は、売上、収益共にマイナス基調が続いているように見受けられる。
78. <京都府 食料品卸売業>
新型コロナウイルス感染症拡大で、春節の訪日客は50万人規模でキャンセル続出、卸売市場の得意先であるホテル・旅館等宿泊施設や料理飲食業が大きな損害を受けた。

小売業

79. <山形県 電気機械器具小売業>
キャッシュレス対応へのポイント還元制度を多くの組合店で導入している。キャッシュレスを利用する消費者も増加していることから、登録店は積極的にアピールし増販に繋げている。
80. <栃木県 各種商品小売業>
1月に限らず、暖冬の影響により、婦人服衣料系テナントの苦戦が目立つ。降雪も困るが、暖冬も売上下落の原因になると改めて感じた。
81. <福井県 観光業>
新型肺炎の影響で団体バスや外国人旅行客が減少した。その一方で、駐車場などの環境整備により客の流れが変わり、県外からの旅行客が徐々に増え始めた実感している。
82. <奈良県 石油>
1月前半は米国とイランの中東情勢の緊迫化もあったが、事態の収束が早く末端小売価格は大きく崩れることなく推移した。後半は新型コロナウイルスの影響から原油市場が急落し、小売価格も乱れている。
83. <香川県 電機>
インターネットで買入する人が増え、量販店に行く顧客もかなり減少している。今までの商売が大きく変化している状況だ。今年は地域に密着した行動をより徹底していかなければならないと感じている。
84. <大分県 お茶>
暖冬傾向の中ではあるが、茶葉にこだわった消費者の来店が目立ち、依然として日本茶ブームが続いているように感じられる。

商店街

85. <岩手県 盛岡市>
キャッシュレス・消費者還元事業の効果か、金額ベースで大幅に増加したが、その分現金利用が落ち込んでおり、単純には喜べない結果である。
86. <石川県 金沢市>
春節期間中は、例年、中国人観光客が多く来て賑わったが、今年は、コロナウイルスの流行もあって、地元客を含めて来場者が減少した。
87. <愛媛県 宇和島市>
暖かい日が続いた為、冬物の動きが鈍く、セールも期待はずれの令和2年のスタート月になった。春物が早く売れることもなく、苦戦は、継続している。
88. <福岡県 福岡市>
外国人観光客は、日韓問題や新型コロナウイルスの影響で、韓国や中国からのクルーズ船の大幅な減少などで目に見えて減っている。
89. <佐賀県 佐賀市>
新型肺炎の影響で薬局はマスクや消毒薬の売り上げがあるが、飲食店は正月以降の人足が減少している。

90. < 鹿 児 島 県 霧 島 市 >

商店街の売上状況は減少傾向にある。昨年に比較し、消費意欲が減退しているように感じており、特に飲食店などは顕著に表れているようである。

サービス業

91. < 宮 城 県 ソフトウェア >

キャッシュレス決済の中でもスマホ決済の普及が顕著である。キャリア決済、おサイフケータイ等の非接触ICによる決済、そして〇〇ペイに代表されるQRコード決済が主要なサービスとして普及している。

92. < 栃 木 県 旅館・ホテル >

宴会予約に関しては、ここ数年のトレンド通り、同件数程度受注したが、1月の宴会受注件数として考えると物足りなさを感じる結果となった。

93. < 群 馬 県 旅館、ホテル >

新型コロナウイルスについて、日本人の顧客から「中国人のツアーは来ているか」、「中国人は宿泊しているか」との問い合わせが数件あったが、目立ったキャンセルはなかった。

94. < 鳥 取 県 観光業 >

鳥取砂丘では年末よりカニツアーが好調で一般、団体ツアー客とも例年に比べ倍増した。売上高前月比では季節的要因もあり減少、前年同月比では売上高は大幅に増加した。

95. < 長 崎 県 旅館業 >

新型コロナウイルスの発生以降、売上に悪影響が出ている。企業としても対策を検討しているが、終息の兆しが見えない。今後の動向を見守るしかないが、売上・資金繰りは厳しくなるだろう。

96. < 沖 縄 県 ホテル旅館業 >

日韓問題を理由に韓国プロ野球のキャンプも秋季キャンプに続き、春季キャンプも取りやめになったため受入を予定して売上を見越していた施設も、先行き見通しのマイナス要因となっている。

建設業

97. < 青 森 県 一般土木建築 >

今年は記録的な暖冬の影響で日本海側を中心に雪が少ない状態が続いている。そのため雪が少ないことで生活しやすい人もいるが、除雪用の重機などを保有している除雪業者にとっては厳しい状況である。

98. < 山 形 県 管工事業 >

記録的に雪が少ない冬となり、例年のような凍結によるトラブルもほとんど無い状態である。

99. < 岐 阜 県 管設備工事 >

年度末のため、官庁工事関係は慌ただしくなっているように思われる。同業者でも仕事量に格差があり、仕事に追われる会社もある。一部の会社のみには仕事が集まっているようで、安価請負が懸念される。

100. < 兵 庫 県 管工事業 >

組合員は年度末に向けて業務量が多くなり職人の確保に苦労している。

101. < 大 分 県 水処理 >

大分市での浄化槽工事受付件数は例年より少なく、今後の工事発注が懸念される。各市町村が下水道地域の縮小を打ち出し、浄化槽地域を広げているとのことで、やはり消費税増税が少しずつ影響している。

102. < 鹿 児 島 県 建設業 >

鴨池運動公園の国体関連工事が進んでいるとともに、再開発事業等の大型建築工事が最盛期であり、建設業界では近年にない活況を呈している。

運輸業

103. < 福 島 県 ハイヤータクシー >

暖かな天候が続いており利用減少につながったか、厳しい状況である。

104. < 東 京 都 港湾旅客運送業 >

新型コロナウイルスの影響により、少人数で利用する乗合船申込者から、中国人の乗船確認をする問い合わせが増えている。

105. < 神 奈 川 県 道路貨物 >

人手不足による影響で売上・収益が悪化している。政府・日銀の景況感と大きく乖離している。先行も不安との声も大きい。

106. < 福 井 県 物流事業 >

軽油価格は先月比+2.1円。アメリカ・イランの状況は落ち着き、新型コロナウイルスの影響で中国の製造能力がダウンし原油使用量が激減することが予想されるため、今後価格は下がっていく。

107. < 静 岡 県 道路貨物運送業 >

今まで荷物情報を提供してくれていた組合員からの情報が減少しており、自社運送の割合が増加している。

108. < 山 口 県 一般貨物自動車運送業 >

輸送関係は、長距離物資の急送品以外は船舶輸送にゆだねられ、近距離輸送が“主”となってきつつあり、中小輸送業者の経営は鈍化しつつある。

その他の非製造業

109. < 秋 田 県 砂利 >

公共工事等が減少しており、また、降雪期に入り骨材の荷動きは鈍い。

110. < 新 潟 県 砂利採取業 >

年度末に向けて、補正予算による工事の公告が増えている。骨材の出荷に期待している。

111. < 兵 庫 県 物品賃貸業 >

年明けリース品のお客様へ過剰に預ける状態になっていた商品が戻ってくる時期である。そのため、納入品が減る傾向にありその分、工場の作業時間は落ち着く方向になる。

112. < 兵 庫 県 社会福祉・介護事業 >

9月入国の実習生は普通に利用者様との会話が出来るようになり、1月配属の実習生は日本語を覚えている状況。受入れ施設からの情報として、実習生が配属され、施設の雰囲気が良くなったという意見が多い。

113. < 福 岡 県 砂・砂利・玉石採取業 >

対前年比101%。各地区共に年度末に向けても需要が伸びない状況にある。

114. < 鹿 児 島 県 造園工事業 >

1月は今年度の市の街路樹、高木剪定、整枝業務の発注があった。また、国体開催に伴う道路・広場の環境整備に伴う伐開業務が重なり、いずれも年度内業務であったため受注した組合員は相当に忙しかった。